



ESSAY



受賞関係

外国人との共生社会を目指して



経営学部

佐藤 彩子 講師



2020年初頭に勃発した新型コロナウイルスの世界的な流行は、人々の価値観や行動様式を大きく変化させました。国内での地域間移動や国外移動が制限され、航空産業や観光産業等、あらゆる産業に影響が生じています。

他方で、人口減少が進む我が国では労働力不足が顕著であり、それを補完すべく外国人労働者の本格的な受入が検討されています。私の研究対象である介護サービス産業では、①2008年のEPA (Economic Partnership Agreement、経済連携協定)創設、②2017年の技能実習制度対象職種への介護の追加、③2017年の介護福祉士資格を取得した留学生への在留資格「介護」の創設、④2019年の改正入管法施行に伴う「特定技能」の創設の4つにより、外国人介護職員の受入が進んでいます。中でも、フィ

リピンやベトナム、インドネシア、ミャンマー等のアジアからの受入が多いのが特徴です。

他方で、上記の制度的受入とは別の理由で来日し日本に長期滞在する就労制限のない外国人の中に、介護サービス産業就業者が存在することも明らかにされつつあります。彼らは「日本人の配偶者等」の身分に基づく在留資格で滞在し、日本での生活や文化に慣れ親しんでいる者も多いです。したがって、このようにすでに日本に居住する外国人を労働力として活用することは重要です。

ただ、上記のように介護サービス産業の外国人労働者は多様な在留資格や国籍出身者で構成されるがゆえに、これらの諸条件の違いが労働条件や生活スタイル等に差を生み出すことも予想され、外国人労働者が急増する今日において、

日本人と外国人という2軸ではなく、外国人同士の違いも含めた広い視点で彼らが抱える課題を検討することは必要です。

これは、介護サービス産業に限らず、多様な産業で就業する外国人にもあてはまります。実際、災害時や緊急時における迅速かつ正確な情報入手が困難、外国人児童の不就学や勉学の遅れ等の課題が生じており、彼らを単なる労働力ではなくひとりの人間として生活課題まで含めたきめ細やかな対応を行っていくことが求められています。

第17回 環大コンペ ～SDGs論文コンテスト～ の結果について

環大コンペとは「公立鳥取環境大学を支援する会」主催のイベントで、大学生活の向上と地域社会に貢献する企画を学内から募集し、優秀企画(団体)を表彰し副賞を授与するものです。第17回環大コンペは「地域社会におけるSDGsへの取組」をテーマに論文コンテスト形式で行われました。

今年度は6人の学生から応募があり、論文審査、ポスター発表を経て、右記のとおり入賞企画が決定しました。

2月5日に行われた2次審査では、審査員を目の前にして緊張しつつも、日ごろのプロジェクト研究やゼミ活動の中で培ったプレゼンテーションの力を発揮し、堂々と発表を行いました。

オンラインマルシェに関する発表を行い、1位に入賞した萩原陸斗さんは「私の研究が農産物ネット販売に興味を持つきっかけになれば嬉しいです。」と喜びの言葉を述べました。

【第1位】

**地域社会におけるSDGsへの取組
オンラインマルシェの利用における利点と課題の一考察**
環境学部 4年 萩原 陸斗

【第2位】

健康寿命が回復した自治体～自立する期間を長くする為に～
経営学部 4年 高柳 健也

【第3位】

**再生可能エネルギーを用いた長期停電時の電力貯蔵システムの構築
津ノ井地区でのシミュレーション**
環境学部 4年 和久 大輝

【奨励賞】

公立鳥取環境大学キャンパスの鳥類相 生態系保全の観点から見たキャンパスの役割
環境学部 2年 市原 農太郎
鳥取県東部におけるロードキルの現状調査
鳥取県東部主要道路の動物犠死記録から動物の事故の発生特性を分析
環境学部 2年 笈川 慶司
地域社会におけるSDGsへの取組
ファッション産業の持続可能性——持続可能な化粧品(Sustainable Cosmetics)
環境学部 1年 金 彬燕